別紙５（診療用放射性同位元素又は陽電子断層撮影診療用放射性同位元素）

１　診療用放射線同位元素に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 核種 |  |
| 化学形等 |  |
| 形状 |  |
| 年間使用予定数量（MBq） |  |
| ３月間最大使用予定数量（MBq） |  |
| １日最大使用予定数量（MBq） |  |
| 最大貯蔵予定数量（MBq） |  |
| 使用場所 | □診療用放射性同位元素使用室□放射線治療病室　□手術室　□ＩＣＵ・ＣＣＵ |

２　診療用放射線同位元素使用室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 使用室名 |  |
| 画壁等の材質及び厚さ等 | 注意）使用室が複数ある場合には、適宜区別して記入すること。 |
| 区分 | 構造 | 材料 | 厚さ（ｍｍ） |
| 天井 |  |  |  |
| 周囲の画壁 | 東面 |  |  |  |
| 西面 |  |  |  |
| 南面 |  |  |  |
| 北面 |  |  |  |
| 床 |  |  |  |
| 出入口の扉 |  |  |  |
| 使用室の壁、床等の構造 | 突起物、くぼみ及び仕上げ材の目地等のすきまが少ない構造 | 有　　・　　無 |
| 平滑で、気体・液体が浸透しにくく、かつ、腐食しにくい材料での表面仕上げ | 有　　・　　無 |
| 画壁等の外側における実効線量を１mSv／週以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 主要構造部等の耐火性 | 耐火構造　・　不燃材料を用いた構造 |
| 出入口の数 | ・通常の出入口　　か所・その他　　　　　か所（用途　　　　　　　　　） |
| 使用室である旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 出入口付近 | 汚染検査に必要な放射線測定器 | 有（測定器名・台数　　　　　　　　　　　　　　）無 |
| 汚染除去に必要な器材 | 有（　　　　　　　　　　　　　　　）　・　無 |
| 洗浄設備 | 有　　・　　無 |
| 洗浄設備の排水設備との連結 | 有　　・　　無 |
| 更衣設備 | 有　　・　　無 |
| 準備室 | 診療室との区画 | 有　　・　　無 |
| 洗浄設備 | 有　　・　　無 |
| 洗浄設備の排水設備との連結 | 有　　・　　無 |
| フード等の汚染空気拡大防止装置 | 有　　・　　無 |
| フード等の装置の排気設備との連結 | 有　　・　　無 |
| 放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 | 有　　・　　無 |
| エックス線ＣＴ装置の使用 | 有　　・　　無 |
| 診療用放射線照射装置又は診療用放射線照射器具の使用 | 有（核種・数量：　　　　　　　　　　　　　　　）無 |
| 照射装置又は照射器具を使用する場合の防護措置 | 放射線診療従事者及び他の患者等の防護措置（放射線防護用具等） | □防護衝立（　　　ｍｍＰｂ）□防護スクリーン（　　　ｍｍＰｂ）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 線源の紛失や放置を確認するための放射線測定器 | 有（機種：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）無 |
| 使用・保管簿の作成 | 有　　・　　無 |
| 放射線管理体制を示す組織図 | 有　　・　　無 |
| 放射線管理責任者の選任 | 有　　・　　無 |

３　貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 貯蔵方法 | 貯蔵室　・　貯蔵箱　・　貯蔵容器 |
| 外部と区画された構造 | 有　　・　　無 |
| 貯蔵施設である旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 画壁等の外側における実効線量を１mSv／週以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 貯蔵室 | 主要構造部等の耐火構造 | 有　　・　　無 |
| 画壁等の材質及び厚さ等 | 区分 | 構造 | 材質 | 厚さ（ｍｍ） |
| 天井 |  |  |  |
| 周囲の画壁 | 東面 |  |  |  |
| 西面 |  |  |  |
| 南面 |  |  |  |
| 北面 |  |  |  |
| 床 |  |  |  |
| 出入口の扉 |  |  |  |
| 出入口の構造等 | 建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第112条第1項に規定する特定防火設備に該当する防火戸 | 有　　・　　無 |
| 出入口の数 | ・通常の出入口　　か所・その他　　　　　か所（用途　　　　　　　　　） |
| 鍵等の閉鎖設備・器具 | 有　　・　　無 |
| 貯蔵箱 | 耐火性の構造 | 有　　・　　無 |
| 扉、ふた等への鍵等の閉鎖設備・器具 | 有　　・　　無 |
| 貯蔵容器 | 貯蔵時の１mの距離における実効線量率が100μSv／時以下になる構造 | 有　　・　　無 |
| 気密構造 | 有　　・　　無 |
| 液体のこぼれにくい構造 | 有　　・　　無 |
| 液体が浸透しにくい材料の使用 | 有　　・　　無 |
| 放射性同位元素の種類および数量の表示 | 有　　・　　無 |
| 貯蔵容器である旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 受け皿、吸収材等の汚染拡大防止設備・器具 | 有　　・　　無 |
| 放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 | 有　　・　　無 |

４　運搬容器の構造及び放射線予防措置の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 運搬時の１mの距離における実効線量率が100µSv／時以下になる構造 | 有　　・　　無 |
| 気密構造 | 有　　・　　無 |
| 液体のこぼれにくい構造 | 有　　・　　無 |
| 液体が浸透しにくい材料の使用 | 有　　・　　無 |
| 放射性同位元素の種類及び数量の表示 | 有　　・　　無 |
| 運搬容器である旨を示す標識 | 有　　・　　無 |

５　廃棄施設の放射線障害に関する構造設備及び予防措置の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 画壁等の外側における実効線量を１mSv／週以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 排水設備 | 排液処理槽の構造、容量及び基数 | 室内式（六面体））・埋設式・その他（　　　　　　）貯留槽　　　ｍ３×　　基、希釈槽　　ｍ３×　　基 |
| 排液浄化装置 | 有　　・　　無 |
| 排水口での排水中の放射性同位元素濃度を法令に定める濃度限度以下とする能力 | 有　　・　　無 |
| 排水監視設備 | 有　　・　　無 |
| 排水の漏れにくい構造 | 有　　・　　無 |
| 排液が浸透しにくく、腐食しにくい材料の使用 | 有　　・　　無 |
| 排液処理槽 | 排液を採取するための構造 | 有　　・　　無 |
| 排液中の放射性同位元素の濃度を測定するための構造 | 有　　・　　無 |
| 排液流出調節装置 | 有　　・　　無 |
| 上部開口部における構造等 | ふたのできる構造・さく等による立入制限措置 |
| 排水設備である旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 排気設備 | 排風機の台数及び排気能力 | 台数　　　　台・　　　　　ｍ３／時 |
| 排気浄化装置の台数及びフィルターの種類 | 台数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　台種類 |
| 使用室等の換気能力 | ｍ３ ／時 |
| 排気口での排気中の放射性同位元素濃度を省令第30条の26第1項に定める濃度限度以下とする能力 | 有　　・　　無 |
| 人が常時立ち入る場所での空気中の放射性同位元素濃度を省令第30条の26第2項に定める濃度限度以下とする能力 | 有　　・　　無 |
| 排気監視設備 | 有　　・　　無 |
| 気体の漏れにくい構造 | 有　　・　　無 |
| 腐食しにくい材料の使用 | 有　　・　　無 |
| 自動ダンパー等の汚染空気拡大防止装置 | 有　　・　　無 |
| 廃棄設備である旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 保管廃棄設備 | 外部と区画された構造 | 有　　・　　無 |
| 扉、ふた等への鍵等の閉鎖設備・器具 | 有　　・　　無 |
| 保管廃棄容器 | 耐火性の構造 | 有　　・　　無 |
| 気密構造 | 有　　・　　無 |
| 液体のこぼれにくい構造 | 有　　・　　無 |
| 液体が浸透しにくい材料の使用 | 有　　・　　無 |
| 保管廃棄容器である旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 保管廃棄設備でる旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 | 有　　・　　無 |

６　放射線治療病室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 放射線治療病室の名称 |  |
| 病室数及び１室当たりの病床数 | 室　・　　　　床／室 |
| 画壁等の材質及び厚さ等 | 区分 | 構造 | 材料 | 厚さ（ｍｍ） |
| 天井 |  |  |  |
| 周囲の画壁 | 東面 |  |  |  |
| 西面 |  |  |  |
| 南面 |  |  |  |
| 北面 |  |  |  |
| 床 |  |  |  |
| 出入口の扉 |  |  |  |
| 病室の床、壁等の構造 | 突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまが少ない構造 | 有　　・　　無 |
| 平滑で、気体・液体が浸透しにくく、かつ、腐食しにくい材料での表面仕上げ | 有　　・　　無 |
| 画壁等の外側における実効線量を１mSv／週以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 放射線治療病室である旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 汚染検査に必要な放射線測定器 | 有　　・　　無 |
| 汚染除去に必要な器材 | 有（測定器名・台数：　　　　　　　　　） ・ 無 |
| 洗浄装置 | 有　　・　　無 |
| 洗浄設備の排水設備との連結 | 有　　・　　無 |
| 更衣設備 | 有　　・　　無 |
| １室に２人以上を入院させる場合の防護措置 | 有（　　　　　　　　　　　　　）　・　無 |
| 放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示 | 有　　・　　無 |

７　その他放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| その他放射線害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要 | 管理区域境界 | 実効線量を1.3mSv／３月以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 空気中の放射性同位元素の3月間平均濃度を省令第30条の26第2項に定める濃度限度の1／10以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 放射性同位元素で汚染される物の表面密度を省令第30条の26第6項に定める表面密度の1／10以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 管理区域の旨を示す標識 | 有　　・　　無 |
| 管理区域への立入制限措置 | 有　　・　　無 |
| 居住区域及び敷地境界の実効線量を250µSv／３月以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 入院患者の被ばくする実効線量を1.3mSv／３月以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 人が常時立ち入る場所で放射線診療従事者等が触れる物の放射性同位元素の表面密度を省令第30条の26第6項に定める表面密度限度以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 放射線診療従事者等の防護措置（放射線防護用具等） | □鉗子・ピンセット　□防護衝立（　　　ｍｍＰｂ）□防護スクリーン（　　　ｍｍＰｂ）□バイアルシールド、シリンジシールド□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  | 放射線診療従事者等の被ばく線量の測定方法 | □ＯＳＬ線量計　□蛍光ガラス線量計（リングﾞ型含）□電子式ポケット線量計　□ＴＬＤ（リング型含）□その他（　　　　　　　　） |
| 放射線管理体制を示す組織図 | 有　　・　　無 |
| 放射線管理責任者の選任 | 有　　・　　無 |
| 手術室・ＩＣＵ等で一時的に使用する場合における防護措置 | 他の患者の被ばくする実効線量を100µSv/週以下とする防護措置 | 有　　・　　無 |
| 汚染検査に必要な放射線測定器 | 有　　・　　無 |
| 汚染除去に必要な器材 | 有　　・　　無 |
| 壁・床等が平滑で、気体・液体が浸透しにくく、かつ、腐食しにくい構造 | 有　　・　　無 |
| 放射線管理体制を示す組織図 | 有　　・　　無 |
| 放射線管理責任者の選任 | 有　　・　　無 |

８　診療用放射性同位元素を使用する医師又は歯科医師の氏名及び放射線診療に関する経歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 職種 | 籍登録年月日及び登録番号 | 放射線診療に関する経歴 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

注意事項

１　診療用放射性同位元素を使用する医師等の氏名欄には、従事する全員の氏名を記入すること。

２　隣接室、上階及び下階の室名、周囲の状況並びに管理区域の標識の位置を明記した診療用放射性同位元素使用室、放射線治療病室、貯蔵施設及び廃棄施設の平面図及び断面図を添付すること。（図面は、各室ごとに熱源の位置、熱源から天井、床及び周囲の画壁等の外側までの距離（ｍ）並びに画壁等の材質、厚さ、縮尺及び方位を記入した縮図とする。）

３　診療用放射性同位元素使用室等と居住区域、敷地境界及び病室の関係がわかる図面を添付すること。（図面は、熱源からの距離（ｍ）、縮尺及び方位を記入した縮図とすること。）

４　排気・排水設備の位置及び排気・排水の系統を示す図面を添付すること。

５　診療用放射性同位元素使用室等の構造設備が法令の基準に適合することを示す計算書を添付すること。

６　放射線管理体制を示す組織図と放射線管理責任者の所属、職種及び氏名を記載した書面を添付すること。ただし、放射線管理責任者については、診療用放射性同位元素又は放射性同位元素によって汚染された物等を取り扱う従事者の中から選任すること。